

令和7年度第1回 LTC の子どもの実態調査に関する協議会 議事概要

【日時】 令和7年8月18日（木） 午後1時30分から午後3時35分まで

【場所】 愛知県自治センター4階 大会議室

【出席者】 伊藤浩明委員(会長)、伊藤麻衣委員、岩田直子委員、江口秀史委員、奥村陽介委員、齋藤伸治委員、高嶋みえ委員、田畑真規子委員、夏目淳委員、成田佳総委員、新家一輝委員、村嶋一步委員

【欠席者】 なし

【事務局】 <愛知県>

健康対策課：久野課長、河合担当課長、三浦課長補佐、藤原主事

障害福祉課：小峰課長補佐

特別支援教育課：加納課長補佐

<名古屋市>

海付子育て支援部担当課長

子ども福祉課：穂積課長補佐

障害者支援課：河戸課長補佐

特別支援教育課：山田課長補佐

【傍聴者】 なし

【内容】

1 開会あいさつ

2 議題

(1) LTC の子どもの実態調査の概要

(事務局から資料1-1、1-2を説明。)

○ 委員の主な意見

- ・ LTC の定義が客観性を欠いており、該当者かどうかは主観が入るので、幅広く対象者を拾っていくことになる。
- ・ こどもホスピスの利用者を調べることに目的を置くかどうかで議論が分かれる。
- ・ 病院と学校が同一の子どもを回答する場合は、集計時に重複しないようになっているか。

→ (事務局) 集計の際に同一の属性情報が出てくれば、同一人物とみなし件数を差し引く。

(2) 2次調査の実施について

(事務局から資料2-1、2-2を説明。)

○ 委員の主な意見

- ・ 緊急時に預けられるところがなくリストラされている方が多いので、緊急で1週間や1か月ほど親が入院した時に看護・介護を行う方がいるかを聞いてほしい。
- ・ 短期入所の利用を希望する回数を問う他に、実際使用できた回数を聞くと愛知県内に短期入所が不足しているという答えが出てくる。
- ・ サービスの利用状況については、民間の支援団体やサービスを利用しているかも聞いてほしい。
- ・ きょうだい児は自分の意思を言えずに我慢してしまうことがあるので、思っていることを回答できる問いかけにしたほうがよい。
- ・ 今回の調査は本人やきょうだい児だけでなく、主な看護・介護者の声も聞くことができる機会なので、本人やきょうだい児に聞いていること、こうなったらいいなという希望も聞いてほしい。

→ (事務局) いただいた意見を反映して2次調査を実施する。